



光 和

6月号
練馬区立光和小学校
平成30年5月25日
校長 城崎 真



みんなならでできる！四年生の チャレンジ！！

△四年生の学年開き▽

新年度が始まり、二か月がたちました。四月の初め、学年コーナーに四年生の子供たちを集め、子供たちに伝えたことがありません。「当たり前」の言葉を当たり前にする。当り前のことを当たり前にする。人の気持ちを考えて言葉を送ったり、行動したりしよう。「すすんでチャレンジしよう。」「運動会で難しいフラッグの演技が、あれだけきれいにできた君たちならできる！」ということ。各クラスで実行委員を決めたときには、立候補をする児童が多く、子供たちの自分の力を伸ばそうという気持ちが見られ、とてもうれしく感じました。



みんな友会議の様子

△実行委員▽

実行委員は、学校行事で学年の中心になって活動を企画、進行する大切な役割です。四月の一年生を迎える会では四年生が歓迎の言葉を伝えたり、歌を歌ったりしました。一年生を迎える会で、どのような言葉を伝えるのか、どんな歌を歌うのかを考えたのは、一年生を迎える会の実行委員です。五月の初めに、学年全体での遊び(学年開き集会)を行いました。どろけいと言葉集めゲームに取り組み、学年の仲を深めることができました。学年の仲を深めるための遊びの内容やルールの工夫などの準備と当日の司会進行は、学年開き集会実行委員の子供たちが行いました。どちらの実行委員の子供たちも準備から本番までとても一生懸命に取り組んでいました。「すすんでチャレンジする」という姿をみせてくれた実行委員の子供たちでした。

△みんな友達足▽

来週は、みんな友達足を行います。今年で三年目になる活動です。一年生から四年生まで、一班十一名程度の縦割り班で行う、異学年交流活動です。今年度も稲荷山公園に行きます。このみんな友達足でも実行委員の子供たちが中心になって活動をすすめています。みんな友達足実行委員は、遠足のスローガンや稲荷山公園で行うオリエンテーリングの内容を考えたり、遠足のしおりを作ったりしてきました。

先日、三年生と四年生が集まり、班のマークを決めるために「みんな友会議」を行いました。全体が集まったときの司会進行をするのも実行委員の役割です。静かに待つ態度、話を聞く姿勢、下学年の児童に優しく接する姿などを見て、四年生のリーダー学年としての成長と態度の素晴らしさを感じています。みんな友達足でも、相手の気持ちを考えて言葉をかけたり、行動したりできると良いと思っています。みんな友達足がさらに楽しみになりました。

(文責 四年 宮崎 侑也)

四季折々

校長 城崎 真

「はきものをそろえる」

はきものをそろえると、ころもそろ

ころもそろると、はきものもそろ

ぬぐときにそろえておくと

はくときにころもみだれない

だれかがみだしておいたら

だまってそろえておいてあげよう

そろすればきつと

世界中の人のころも そろうでしょう

この詩は、長野県篠ノ井町にある円福寺の藤本幸邦和尚が作られたそう。永平寺の開祖である道元禅師の「脚下照顧(足もとをよく見る)」という教えを分かりやすい詩として表現され、有名になりました。

この教えには、生きていく上で大切ないろいろな要素が含まれているかと思っています。

○履き物をそろえる心の余裕をもちたいものです。

○準備を怠らないことで、よいスタートを切りたいものです。

○人の行動を許し、補える優しさがほしいものです。

五月二十八日(月)より、六年軽井沢移動教室に出発します。六年生は、この移動教室をよりよいものに成功させようと担任四名とともにしっかりと準備をしてきました。この移動教室で子供たちは、本当の楽しさを味わい、一回りも二回りも成長し、一致団結した新生六年生として帰校してくれることでしょうか。ころもそろえて！

(二〇一八年 六月)